

株式会社ステムセル研究所

2023年3月期 決算補足説明資料



中期事業戦略

2023年 5月11日

01 — 決算概況

02 — 中期事業戦略

03 — 会社概要

決算概況

(単位：百万円)

	2022/03期	構成比	2023/03期	構成比	対前期 増加額	対前期 増減率
売上高	1,781	100.0%	2,091	100.0%	309	17.4%
売上総利益	1,111	62.4%	1,335	63.9%	224	20.2%
販売費及び 一般管理費	884	49.6%	1,038	49.7%	153	17.4%
営業利益	226	12.7%	297	14.2%	70	31.1%
営業外損益	-14	—	2	—	17	—
経常利益	212	11.9%	300	14.4%	87	41.3%
特別損益	—	—	-21	—	-21	—
当期純利益	133	7.5%	198	9.5%	64	48.1%

売上高

過去最高

営業利益（対前期比）

+31.1%

本社移転費用を当期処理

合計 **21**百万円

(単位：百万円)

	2022/3/31	構成比	2023/3/31	構成比
現金及び預金 ※①	3,511	67.3%	3,324	57.2%
売掛金 ※①	594	11.4%	1,140	19.6%
固定資産 ※②	1,037	19.9%	1,266	21.8%
資産合計	5,215	100.0%	5,811	100.0%
前受金	2,745	52.6%	3,095	53.3%
純資産合計	2,103	40.3%	2,298	39.6%
負債純資産合計	5,215	100.0%	5,811	100.0%

ポイント①

現金及び預金 + 売掛金

合計 **4,464**百万円

対前期比 **+359**百万円

※自社分割払いを積極的に活用したことに伴う
売掛金の増加

ポイント②

投資有価証券

合計 **243**百万円

(内訳)

- クオリプス(株)への出資
- (株)ベビーカレンダーへの出資
- (株)グレイスグループへの出資
- MUFG社債

(単位：百万円)

	2023/03期 (実績)	構成比	2024/03期 (予想)	構成比	対前期 増加額	対前期 増減率
売上高	2,091	100.0%	2,509	100.0%	418	20.0%
売上総利益	1,335	63.9%	1,600	63.8%	264	19.8%
販売費及び 一般管理費	1,038	49.7%	1,148	45.8%	110	10.6%
営業利益	297	14.2%	451	18.0%	154	51.8%
営業外損益	2	—	—	—	-2	—
経常利益	300	14.4%	451	18.0%	151	50.4%
特別損益	-21	—	—	—	21	—
当期純利益	198	9.5%	300	12.0%	101	51.5%
一株当たり 当期純利益(円)	19.33	—	29.28	—	9.95	51.5%

売上高、各利益

全項目

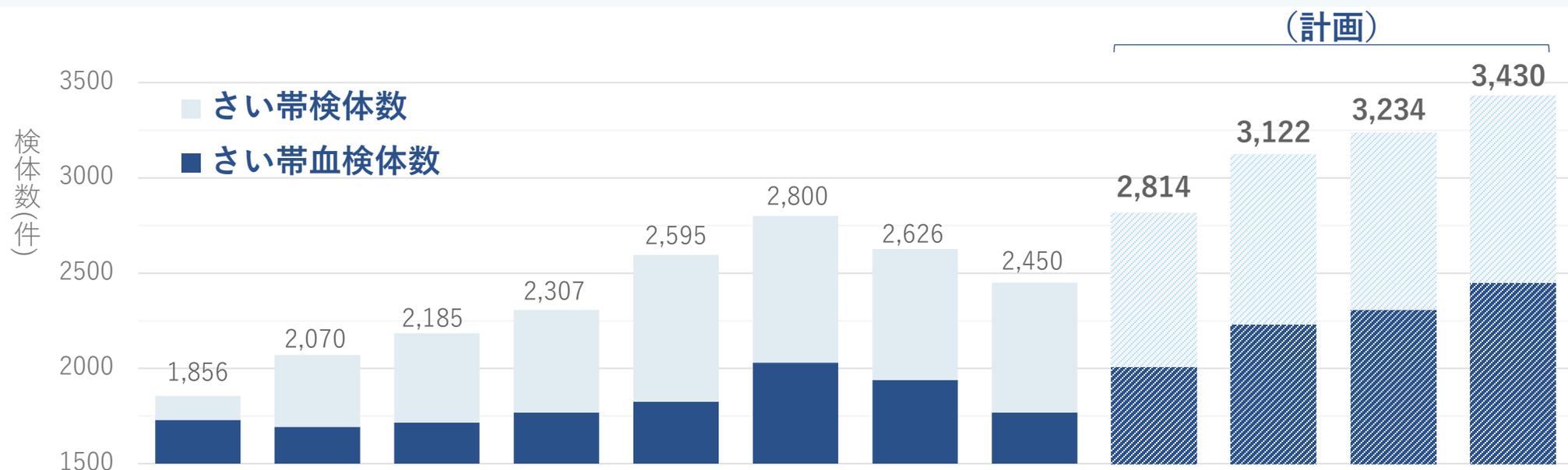
過去最高

売上高（対前期比）

+20.0%

営業利益（対前期比）

+51.8%



	2022/03期				2023/03期				2024/03期				対前期比
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	
さい帯血 検体数(件)	1,730	1,693	1,715	1,769	1,825	2,030	1,940	1,769	2,010	2,230	2,310	2,450	+ 19.0%
	合計	6,907 (対前期比+21.3%)			合計	7,564 (対前期比+9.5%)			合計	9,000			
さい帯 検体数(件)	126	377	470	538	770	770	686	681	804	892	924	980	+ 23.8%
	合計	1,511			合計	2,907 (対前期比+92.4%)			合計	3,600			
さい帯血保管者の さい帯採取比率	7.3%	22.3%	27.4%	30.4%	42.2%	37.9%	35.4%	38.5%	40.0%	40.0%	40.0%	40.0%	

中期事業戦略

1 コロナ禍後のオンラインとリアルマーケティングの相乗効果

- ▶ オンライン広告の量から質（成約率）とブランディングを重視した施策への移行
- ▶ リアル活動の再起動&母学スピーチ数の増加
※母親学級の開催数：コロナ禍中 18件/月 → 300件/月(2024/03期上半期見込) → 600件/月(コロナ前と同レベル) → 1,000件/月
- ▶ オンラインとリアルとのバランスを取り、利益率を最大化

2 価格改定効果

- ▶ 2023/03期第4Qからの5~6%の値上げが
2024/03期は通期で貢献

4 BSからの利益創出

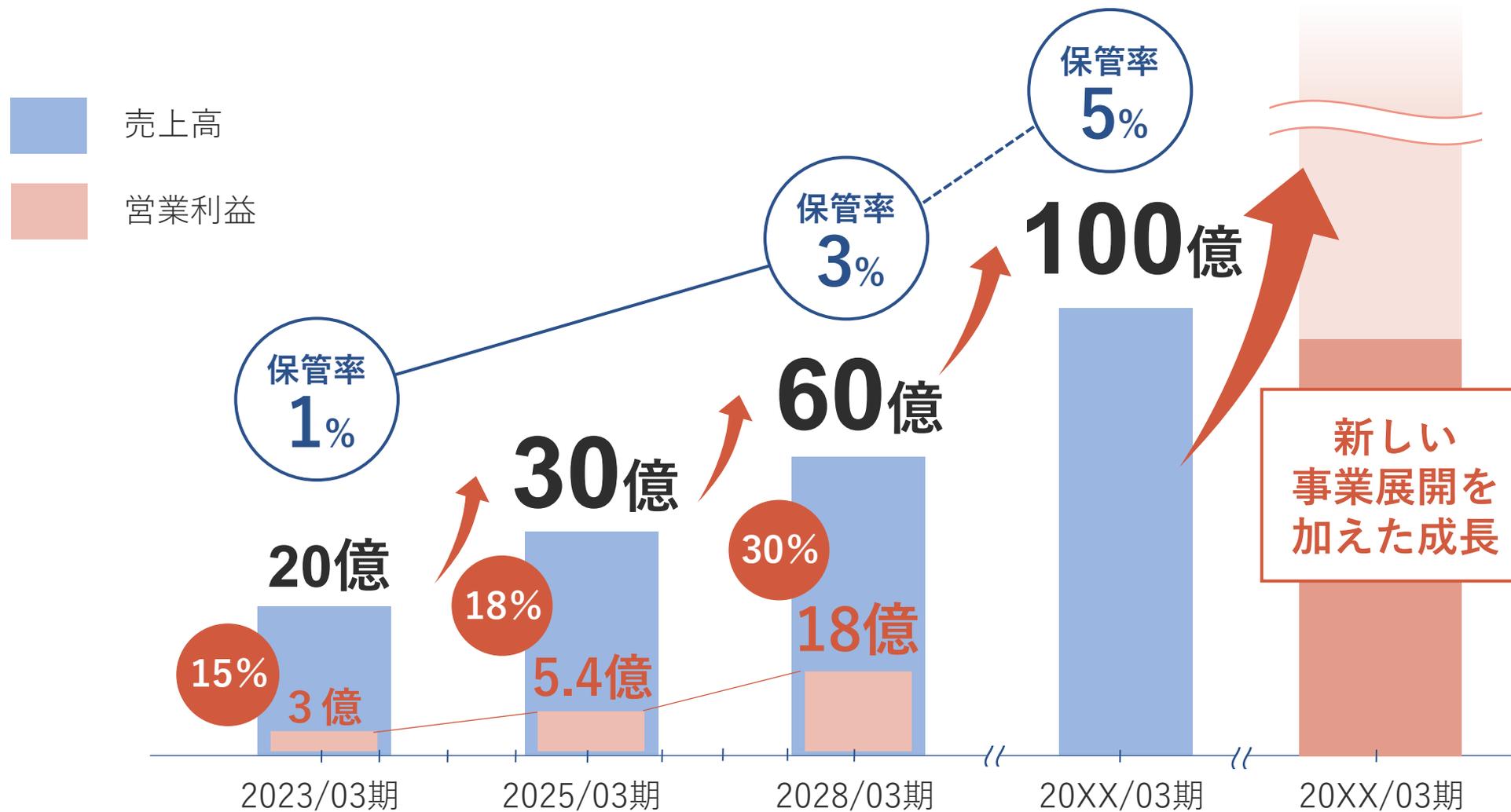
- ▶ 現預金33.2億円と投資有価証券2.4億円の
バランスを2:1程度へ

3 保管率向上のための施策

- ▶ さい帯血保管率1%を、2028/03期3%、そして5%へ
-施策-
 - ・国内外の投与プログラムへのアクセス向上
 - ・保管細胞を利用した培養上清（エクソソーム）事業

5 業績・企業価値向上のためESGの取り組み強化

- ▶ S（Social）、G（Governance）を中心とした
サステナビリティ経営



※保管率：出生数に対するさい帯血の保管率

10,000検体 → 20,000検体 → XX,000検体

保管率向上のための国内外での施策

当社独自のサービス

「さい帯由来幹細胞培養上清液」

製造サービス開始

保管したさい帯の幹細胞を培養・増殖させ、
幹細胞培養上清液を製造



サービス開始

2023年5月開始予定

ポイント

- 1 保管したお子様の「さい帯」から幹細胞培養上清液を製造
日本初、当社だからできるサービス
- 2 医療クリニックにおいて医師の裁量下で顧客のニーズに
合わせて適切に投与
- 3 複数本に分けて保管したさい帯の一部を使用するため、
残りのさい帯は、**将来に備えて保管継続が可能**

米国デューク大学「拡大アクセス 制度(EAP)」の参加者が増加



国内で行われている臨床研究の参加条件を満たさなかった
方も、海外で投与を受けられるフローが確立し参加者増加
参加者が円滑に申込みや渡航ができるよう当社独自のEAP
パッケージツアーを導入し、投与機会を後押し

これまでのEAP投与実績(2019年4月～)

投与済

4 例

2023年度に向けて決定している海外での投与予定数

検体出庫済

1 例

計画中

2 例

Social (社会・人的資本投資)

E / S / G

働きやすい環境

- ▶ 本社移転
事業拡大に伴う本社機能の拡充・業務の効率化、働きやすさの改善
- ▶ リモートワーク・時差出勤・育児期間中の時短勤務等

女性の活躍

- ▶ 従業員の女性比率 **73%**
※契約社員・パート含む
- ▶ 女性管理職比率 **20%**
- ▶ 報酬総額の男女比率 **1 : 0.68**

出産・育児

- ▶ 育休後の復職率 **100 %**
- ▶ 男性の育休取得率 **100 %**

賃上げ(率)

- ▶ 2022年 **3.9 %**
- ▶ 2023年 **4.5 %**

人材育成

- ▶ 新卒入社者研修・キャリア研修

健康と安全

- ▶ ストレスチェック・健康診断
- ▶ 勤務時間のモニタリング
長時間労働の防止及び
上長への通知・指導
- ▶ 有給休暇の取得促進
- ▶ 全従業員を対象とした
インフルエンザ予防接種の補助

Governance (ガバナンス)

E / S / G

多様性・経営監視強化

- ▶ 女性役員比率 **28%**
女性役員2名を新たに選任予定※
- ▶ 社外役員比率 **85%**

取締役7名の内、社内取締役は代表取締役の1名のみで構成予定※

※2023年6月の株主総会にて決議予定

Environment (環境)

E / S / G

環境保全

- ▶ 本社移転による胡蝶蘭等の祝花を「フェイクグリーン」に
- ▶ オフィス全体での節電運動

会社概要

名称	株式会社ステムセル研究所 (英語名:StemCell Institute)
代表者	清水 崇文
設立日	1999年8月5日
資本金	7億480万円
事業内容	周産期の組織に由来する細胞の処理及び保管を行う「細胞バンク事業」及びそれらの細胞を用いた再生医療の研究開発
所在地	本社：東京都港区虎ノ門一丁目21-19 東急虎ノ門ビル 2階 (※2023年5月29日移転予定) 東京CPC：東京都港区新橋五丁目22-10 松岡田村町ビル 1階 横浜CPC及び第一・第二細胞保管センター：神奈川県横浜市緑区白山一丁目18-2 ジャーマンインダストリーパーク 事業所：名古屋オフィス / 大阪オフィス / 福岡オフィス
社員数	社員：92名(男性:35名 女性:57名) 非常勤(契約社員・パート)：83名(男性11名 女性72名) ※2023年3月末時点
主要株主	株式会社トリムメディカルホールディングス(72.06%) ※(株)日本トリム(東証プライム:6788)が(株)トリムメディカルホールディングスの株式(100%)を保有
株主名簿管理人	東京証券代行株式会社
主要取引銀行	株式会社三菱UFJ銀行
主幹事証券会社	野村証券株式会社
監査法人	有限責任あずさ監査法人

- 本資料は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらは、現在における予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。それらのリスクや不確実性には、業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済情勢が含まれております。今後、「見通し情報」に変更があった場合であっても、当社は、本資料の更新・修正を行う義務を負うものではありません。
- 当社は、将来の不測の事象などの発生にかかわらず、既に行っている今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- 本資料の当社以外に関する情報は、一般的に公知と考えられるものに基づいております。
- 本資料は、いかなる有価証券の取得の勧誘行為を行うためのものでもなく、いかなる契約、義務の根拠となり得るものでもありません。

株式会社ステムセル研究所